

平成28年度 原子力総合防災訓練
住民アンケート報告書
< 原子力総合防災訓練 >

平成29年5月

内閣府政策統括官（原子力防災担当）

目 次

1 . 原子力総合防災訓練のアンケート実施概要	1
2 . アンケートの目的	1
3 . アンケート回答者の属性	1
4 . アンケートの分析	2
4 . 1 アンケートについて	2
4 . 2 アンケートの分析方法	2
4 . 3 アンケート結果の分析及び改善提案	2
4 . 4 自由意見についての分析及び改善提案	7
5 . 総評	8

<参考>

住民アンケート結果

- 1 . あなたはどの町村の方ですか？
 - 2 . あなたの性別を教えてください。
 - 3 . あなたの年齢を教えてください。
- 問 1 . あなたのお住まいの地域は、P A Z、U P Zのどの区分に該当するのか知っていましたか？
- 問 2 . あなたがお住まいの地域の原子力災害時における避難計画（バス避難する場合の集合場所・一時滞在場所・避難先自治体等）の内容を理解していますか？
- 問 3 . 原子力災害が発生し、あなたの町に避難指示が出された場合、どのような行動をとりますか？
- 問 4 . 災害に備え何日分の食料・飲料等を準備していますか？
- 問 5 . 避難に当たって、あなたはどのような情報が重要と考えていますか？
- 問 6 . 事故が発生した場合、発電所の状況等に応じて段階的に住民避難が実施されますが、本年度の訓練に参加し自分がどのように行動すべきか手順がわかりましたか？
- 問 7 . 今回の訓練では、さまざまな広報手段により情報の発信を行いました。どのような広報手段であなたに情報が伝わりましたか？
- 問 8 . 訓練広報の内容は理解できましたか？
- 問 9 . 全体として、避難行動はスムーズに行えましたか？
- 問 10 . 安定ヨウ素剤の配布を受けた際の説明は理解できましたか？
- 問 11 . 避難退域時検査場所での検査の流れは理解できましたか？（職員の対応含む）
- 問 12 . 今回の訓練を体験して避難は確実にできると感じましたか？
- 問 13 . 北海道では「原子力防災のしおり」や「北海道原子力防災カレンダー」などを配布し、原子力防災について広報を行っています。あなたは、広報が行われていることを知っていますか？
- 問 14 . あなたが読んだことのある広報紙は何ですか？

1. 原子力総合防災訓練のアンケート実施概要

- 実施日時：平成28年11月13日（日）、14日（月）
- 実施場所：避難所他
- 対象者：泊村、共和町、岩内町、神恵内村、寿都町、蘭越町、俱知安町、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村の訓練参加住民
- 回答人数：365名（内訳：泊村60名、共和町84名、岩内町20名、神恵内村29名、寿都町18名、蘭越町15名、俱知安町23名、積丹町27名、古平町53名、仁木町4名、余市町26名、赤井川村6名）

2. アンケートの目的

本年度実施された原子力総合防災訓練において、参加者アンケートを行い、これらの結果を分析のうえ改善策を検討し、今後の訓練に役立てることを目的として実施した。

3. アンケート回答者の属性

回答者の住まいは、「PAZ内」が39.5%、「UPZ内」が60.5%の構成であった。

回答者の性別は、「男性」が52.6%、「女性」が44.4%であった。

回答者年齢は、「60代以上」が60.5%、「40～50代」が22.7%であり、40代以上が80%以上を占めた。

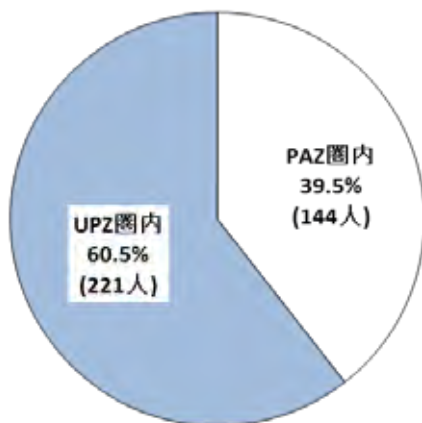


図 3-1 回答者の住まい

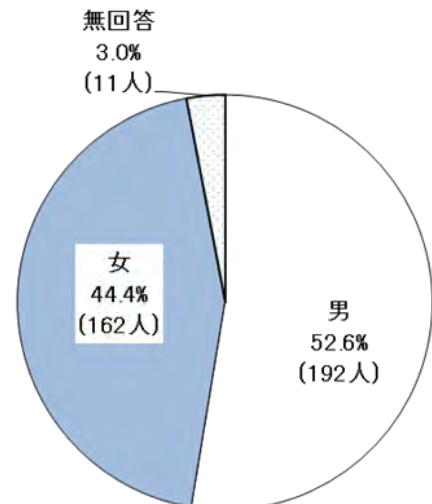


図 3-2 回答者の性別

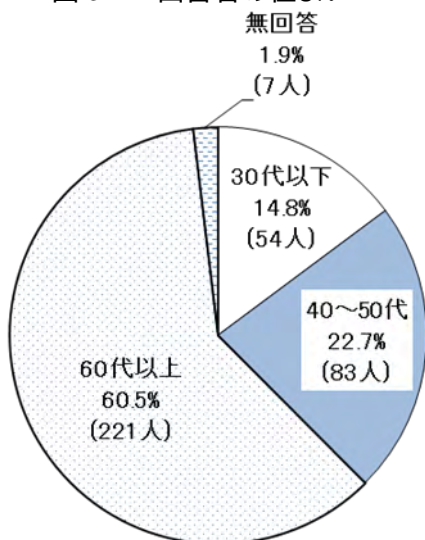


図 3-3 回答者の年齢

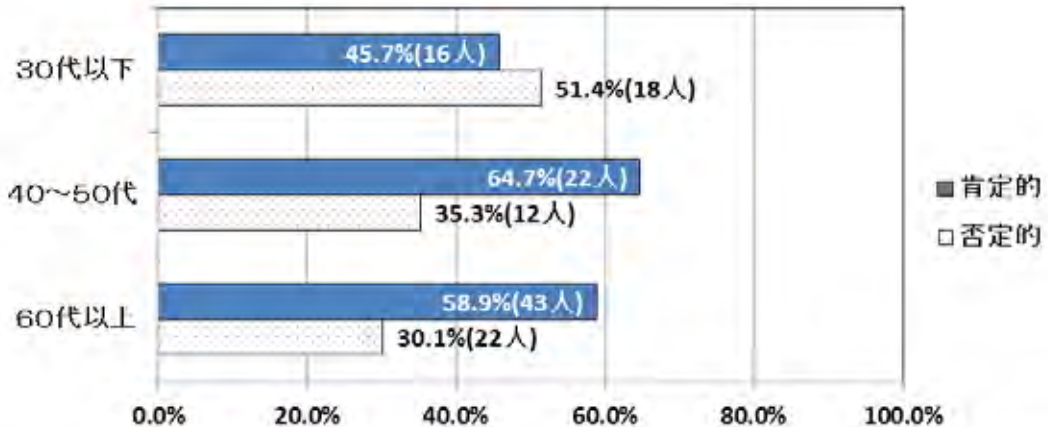
(1) P A Z ・ U P Z 区域

区域及び年代別の肯定的、否定的回答割合を図 4-1 に示す。

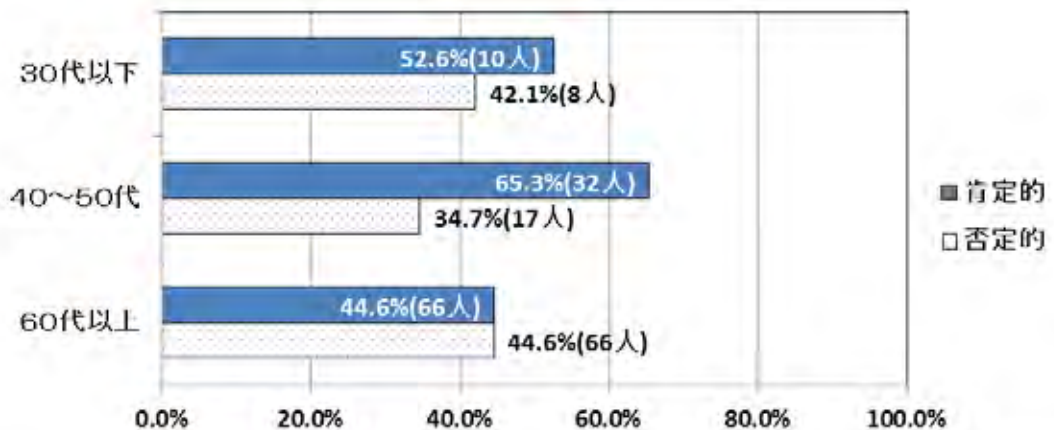
P A Z ・ U P Z 内ともに、30代以下の肯定的及び否定的回答の割合がほぼ均等した値の傾向となっている。

図 4-1 区域及び年代別の肯定的、否定的回答割合

【 P A Z 内】



【 U P Z 内】



本設問については、自由記述がなく分析ができないため、結果のみの記載とする。
上記の結果から判断した課題及び改善策を表 4-1 に示す。

表 4-1 P A Z ・ U P Z 区域に関する課題及び改善策

No.	課題	改善策
1	P A Z ・ U P Z 区域を知らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動による住民への周知 様々な広報手段（資料配布、HP等）により、広く住民へ周知していくことを推奨する。 ・ 説明会の開催 住民に理解していただくために、町村や地区毎の説明会の実施を推奨する。

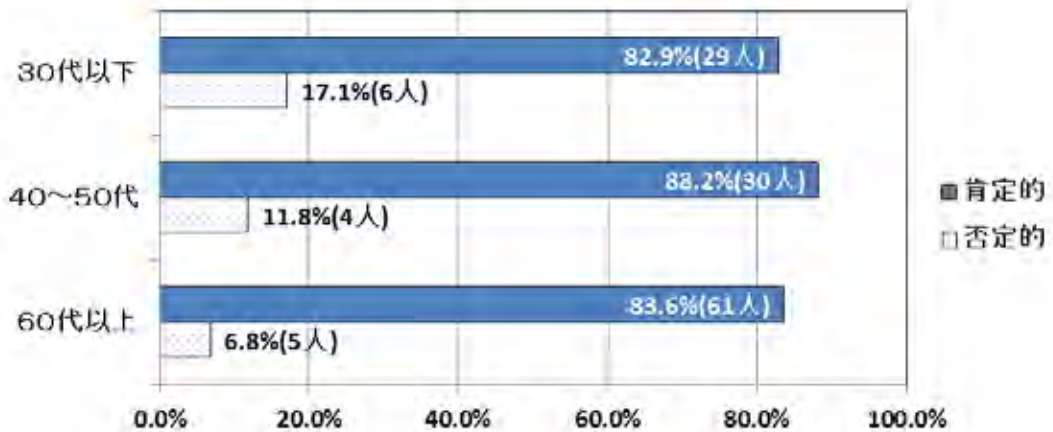
(2) 避難計画

区域及び年代別の肯定的、否定的回答割合を図 4-2 に示す。

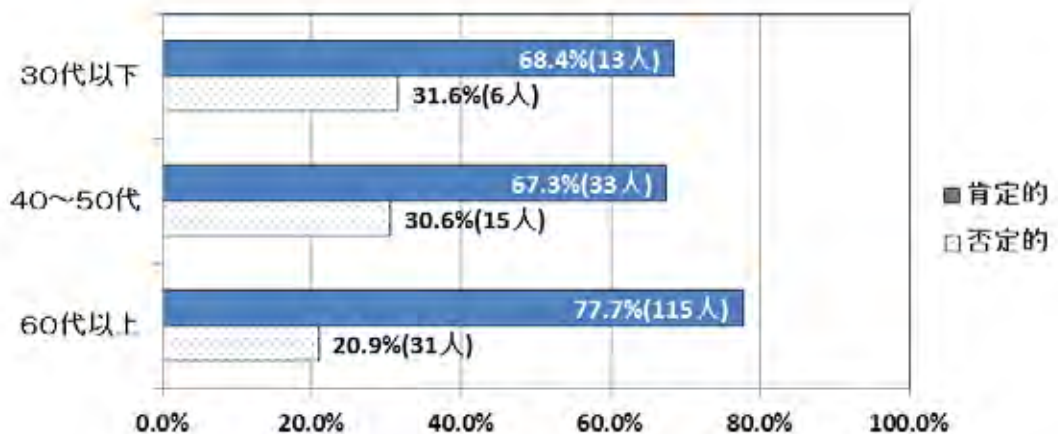
P A Z 内の肯定的回答の割合が非常に高い結果になっている。

図 4-2 区域及び年代別の肯定的、否定的回答割合

【P A Z 内】



【U P Z 内】



本設問については、自由記述がなく分析ができないため、結果のみの記載とする。

上記の結果から判断した課題及び改善策を表 4-2 に示す。

表 4-2 避難計画に関する課題及び改善策

No.	課題	改善策
1	各町村の広域避難計画を知らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動による住民への周知 様々な広報手段（資料配布、HP等）により、広く住民へ周知していくことを推奨する。 ・ 説明会の開催 住民に理解していただくために、町村や地区毎の説明会の実施を推奨する。

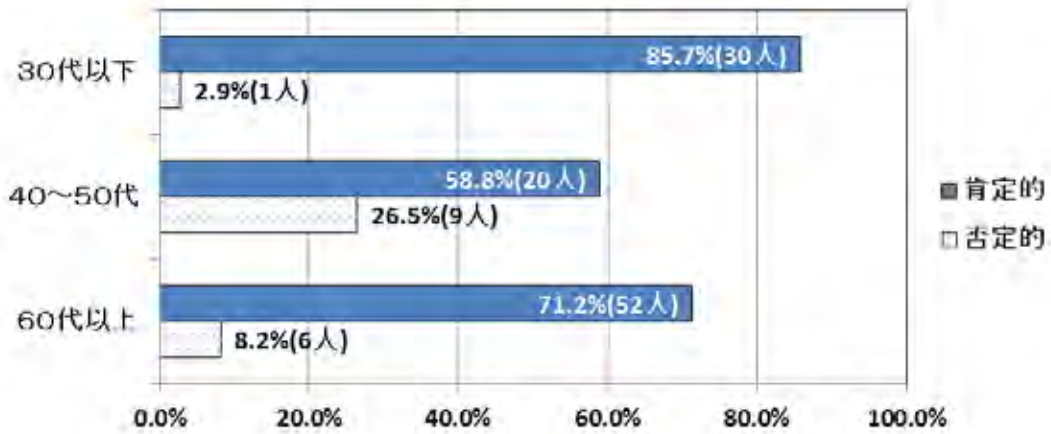
(3) 有事の際の対応

区域及び年代別の肯定的、否定的回答割合を図 4-3 に示す。

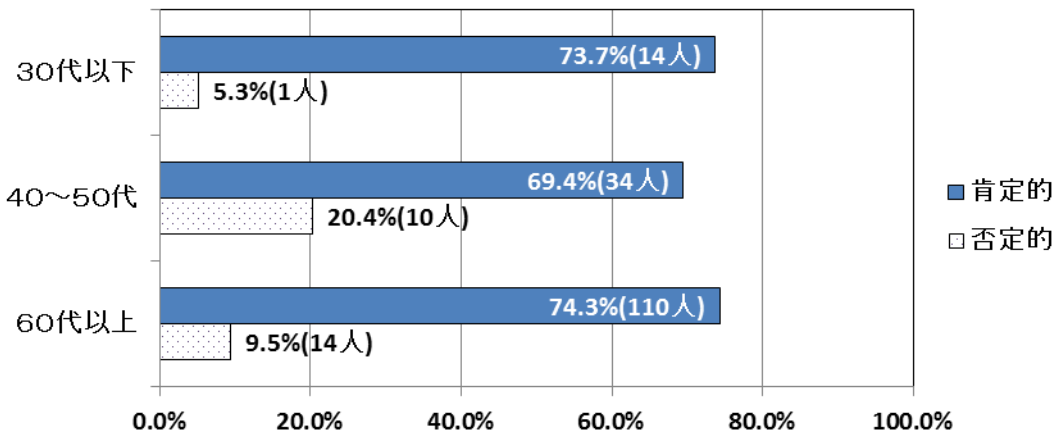
P A Z ・ U P Z 内ともに年代を問わず肯定的回答の割合が高い傾向になっている。

図 4-3 区域及び年代別の肯定的、否定的回答割合

【 P A Z 内】



【 U P Z 内】



主な否定的意見を以下に示す。

<避難ルートへの不安>

- ・道路が通行不能の時はどうするのか？（泊村など）

<避難手段への不安>

- ・交通渋滞がおこる可能性がある。（倶知安町など）
- ・事故の時、本当にバスは来るの？（共和町など）

<要配慮者の避難への不安>

- ・私は自家用車があるがバスを利用する方のうち、独居や体の不自由な方は夜間・風雪に集合場所まで短時間で行くのは不安がある。（古平町）

<情報伝達への不安>

- ・児童の保護者への引渡しをいつ、どの時点で行うのか。また、学校と保護者の情報共有ができるのか疑問・不安に思うことが多い。（余市町）

<有事の際に訓練と同じ行動がとれるか不安>

- ・夜間の避難には対応しているが不安は残る。（古平町）

<冬季における避難への不安>

- ・冬期間に災害になった場合、雪害等により困難が生じるのでは？（蘭越町など）

これらの否定的な意見から判断した課題及び改善策を表 4-3 に示す。

表 4-3 有事の際の対応に関する課題及び改善策

No.	課題	改善策
1	避難ルートへの不安 避難手段への不安 要配慮者の避難への不安 情報伝達への不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難計画の再検証 住民からの意見（声）を取り入れた避難計画の再検証を推奨する。 ・ 定期的な住民広報の実施 住民に理解していただくために、原子力防災に関する定期的な住民広報の実施を推奨する。
2	有事の際には訓練と同じ行動がとれるか不安 冬季における避難への不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練の継続実施 有事の際に対応できるように、継続的な避難訓練の実施を推奨する。

4.4 自由意見についての分析及び改善提案

(1) 訓練参加者

住民の4割が、自身が居住している地域がPAZ又はUPZに区分しているのかを把握していない状況であり、様々な広報手段による活動や説明会などを実施することで、住民に周知いただく必要があると考える。

訓練参加者の約6割が60代以上と高齢者が非常に多く、若年層の参加が少ない訓練であった。今後は、若年層が積極的に参加できるような取組みが必要であると考ええる。

(2) 避難計画

住民の約8割が原子力災害時における避難計画を十分又は概ね理解していると回答しており、避難に対する関心の高さが伺える。

60代以上の住民は、約4割が原子力災害時における避難計画を十分に理解していると回答しており(PAZ内は5割以上)、防災意識が非常に高いと考える。一方で、30代以下の若年層は、十分に理解していると回答した住民が1割にも満たず(UPZ内は0)、若年層の防災意識の低さが伺える。若年層にも防災意識を持っていただく必要があり、今後、若年層が訓練に参加できるような取組みが必要であると考えられる。

住民からは、避難ルート、避難手段など避難計画に対する不安の意見が特に多く挙げられており、住民の意見を取り入れた避難計画の再検証も必要でないかと考える。また、住民の不安を少しでも解消するための取組みとして、訓練時により丁寧に説明することが必要である。

(3) 有事の際の備え

避難に対する関心は高いものの、食料・飲料などの準備をしていない住民が4割以上もあり、食料・飲料などの備蓄が必要と考えられる。広報紙などにより、食料・飲料などの備蓄を推奨する取組みが必要であると考ええる。

(4) 住民への情報伝達

住民への情報伝達手段は「防災行政無線」が主流であるが、「緊急情報メールサービス」と回答する住民も多く見られた。携帯電話やスマートフォン、タブレット端末が一般的に普及している今日において、「緊急情報メールサービス」は有効な情報提供手段の1つではないかと考える。

(5) 避難訓練

住民の約8割が避難行動をスムーズに行えたとは回答しており、今回の避難訓練は良好であったと考える。

自由意見にも多く意見が出されているが、住民は有事の際に訓練同様の対応が本当に取れるのか不安を抱いており、より厳しい想定且つ継続的な訓練の実施が必要であると考ええる。

想定外の被害があった場合、決められた通りには進まないなど訓練を懐疑的に思っている住民もあり、季節や天候など多様な状況を想定した訓練も必要ではないかと考える。

住民からは、要配慮者の避難に関する不安も多く挙げられており、要配慮者の避難訓練を多く取り入れることも必要であると考ええる。

5. 総評

住民アンケート結果を分析すると、今回の訓練は、全体的に良好であったと思われる。

しかし、良好な中でも、若年層の防災意識の低さ、食料・飲料などの備蓄を行っていない住民が4割以上も存在するなど、課題も明確となった。また、避難ルートや避難手段などの避難計画に対する不安や要配慮者の避難に関する不安、情報伝達への不安、冬季も含め災害時に訓練と同じ行動がとれるのかなどの意見があげられた。

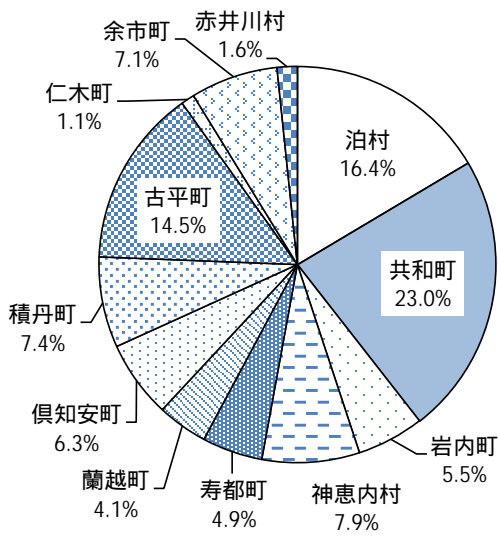
本訓練で明確となった課題や意見は、緊急時対応や訓練方法・内容の高度化等の継続的改善を図るための要素であり、4.4 で提示した改善提案などを参考に、今後の緊急時対応等の更なる充実・強化を推奨する。

以上

<参考>

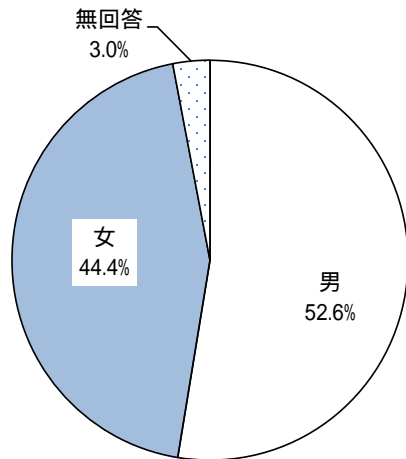
住民アンケート結果

1. あなたはどの町村の方ですか？



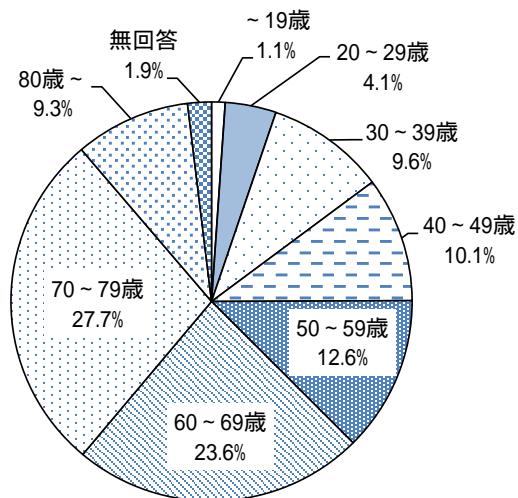
	回答数	割合
泊村	60	16.4%
共和町	84	23.0%
岩内町	20	5.5%
神恵内村	29	7.9%
寿都町	18	4.9%
蘭越町	15	4.1%
俱知安町	23	6.3%
積丹町	27	7.4%
古平町	53	14.5%
仁木町	4	1.1%
余市町	26	7.1%
赤井川村	6	1.6%
合計	365	100.0%

2. あなたの性別を教えてください。



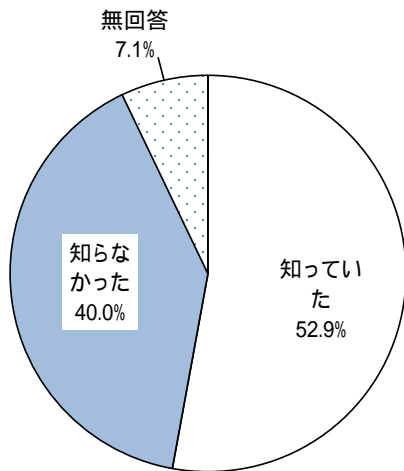
	回答数	割合
男	192	52.6%
女	162	44.4%
無回答	11	3.0%
合計	365	100.0%

3. あなたの年齢を教えてください。



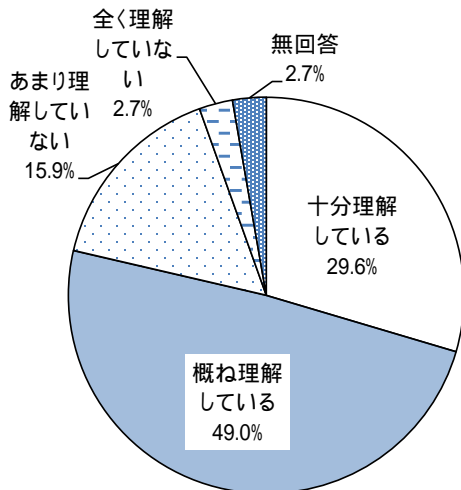
	回答数	割合
~19歳	4	1.1%
20~29歳	15	4.1%
30~39歳	35	9.6%
40~49歳	37	10.1%
50~59歳	46	12.6%
60~69歳	86	23.6%
70~79歳	101	27.7%
80歳~	34	9.3%
無回答	7	1.9%
合計	365	100.0%

問1．あなたのお住まいの地域は、PAZ、UPZのどの区分に該当するのか知っていましたか？



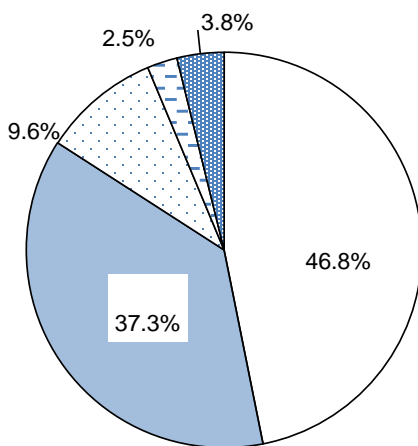
	回答数	割合
知っていた	193	52.9%
知らなかった	146	40.0%
無回答	26	7.1%
合計	365	100.0%

問2．あなたがお住まいの地域の原子力災害時における避難計画（バス避難する場合の集合場所・一時滞在場所・避難先自治体等）の内容を理解していますか？



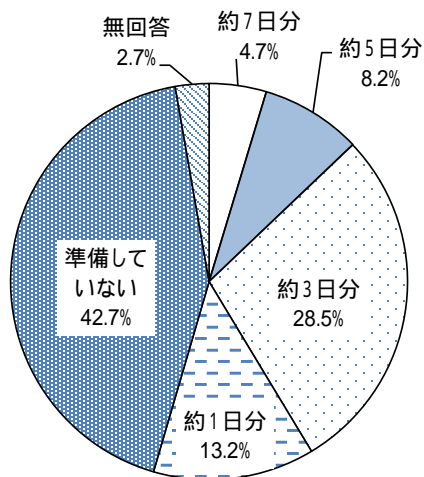
	回答数	割合
十分理解している	108	29.6%
概ね理解している	179	49.0%
あまり理解していない	58	15.9%
全く理解していない	10	2.7%
無回答	10	2.7%
合計	365	100.0%

問3．原子力災害が発生し、あなたの町に避難指示が出された場合、どのような行動をとりますか？



	回答数	割合
役場などが用意するバス等で、役場が指定する避難所まで避難	171	46.8%
自家用車等を使用して、役場が指定する避難所まで避難	136	37.3%
自家用車等を使用して、親戚・知人宅など避難所以外の場所へ避難	35	9.6%
その他	9	2.5%
無回答	14	3.8%
合計	365	100.0%

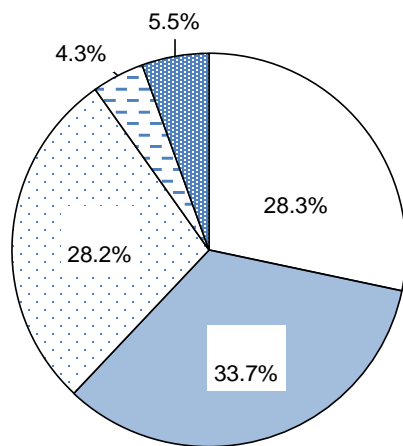
問4．災害に備え何日分の食料・飲料等を準備していますか？



	回答数	割合
約7日分	17	4.7%
約5日分	30	8.2%
約3日分	104	28.5%
約1日分	48	13.2%
準備していない	156	42.7%
無回答	10	2.7%
合計	365	100.0%

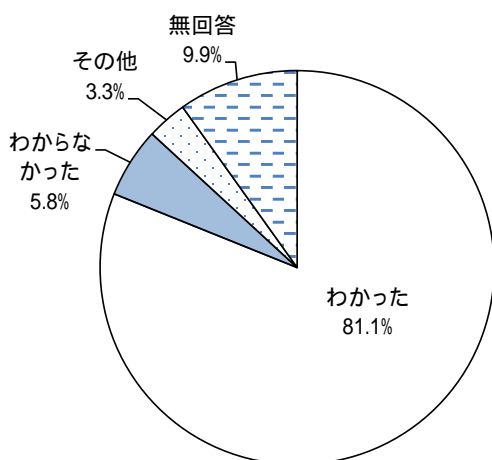
問5．避難に当たって、あなたはどのような情報が重要と考えていますか？

(複数回答可)



	回答数	割合
事故事象の概要	185	28.3%
屋内退避又は避難の必要性	220	33.7%
放射線、放射性物質の放出状況や健康への影響	184	28.2%
その他	28	4.3%
無回答	36	5.5%
合計	653	100.0%

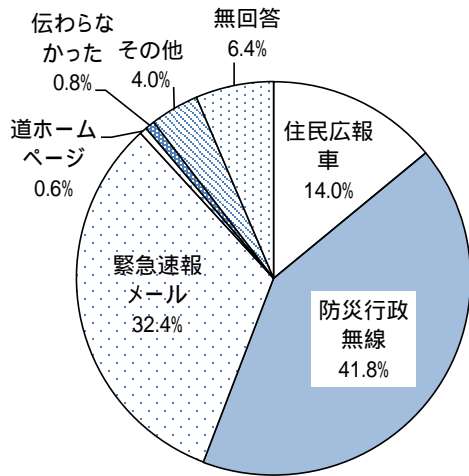
問6．事故が発生した場合、発電所の状況等に応じて段階的に住民避難が実施されますが、本年度の訓練に参加し自分がどのように行動すべきか手順がわかりましたか？



	回答数	割合
わかった	296	81.1%
わからなかった	21	5.8%
その他	12	3.3%
無回答	36	9.9%
合計	365	100.0%

問7．今回の訓練では、さまざまな広報手段により情報の発信を行いました。どのような広報手段であなたに情報が伝わりましたか？

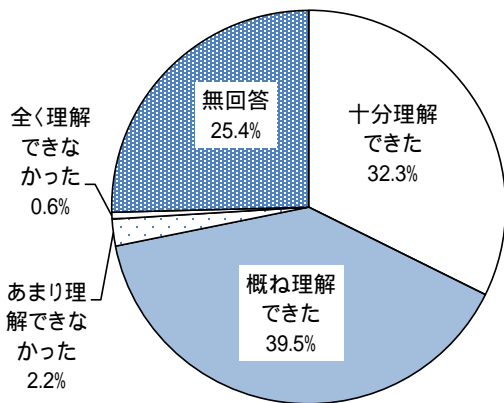
(複数回答可)



	回答数	割合
住民広報車	70	14.0%
防災行政無線	209	41.8%
緊急速報メール	162	32.4%
道ホームページ	3	0.6%
伝わらなかった	4	0.8%
その他	20	4.0%
無回答	32	6.4%
合計	500	100.0%

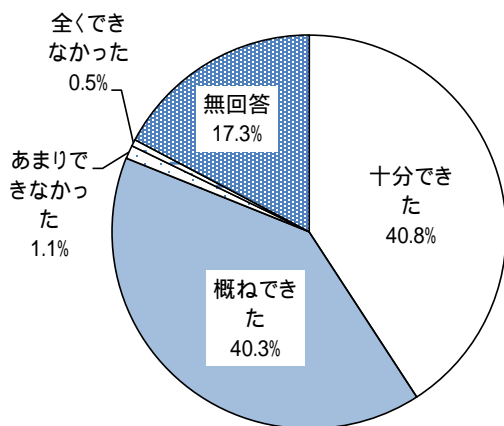
問8．訓練広報の内容は理解できましたか？

(設問7で「伝わらなかった」以外を選んだ方)



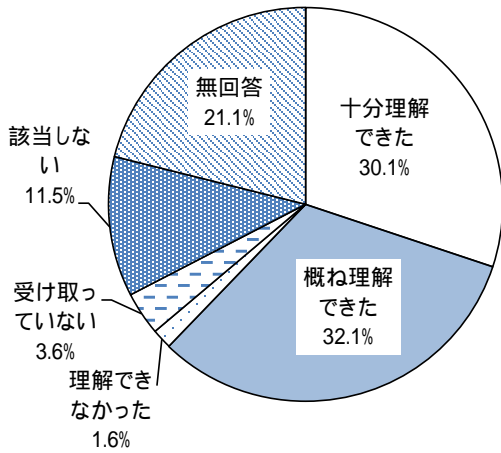
	回答数	割合
十分理解できた	117	32.3%
概ね理解できた	143	39.5%
あまり理解できなかった	8	2.2%
全く理解できなかった	2	0.6%
無回答	92	25.4%
合計	362	100.0%

問9．全体として、避難行動はスムーズに行えましたか？



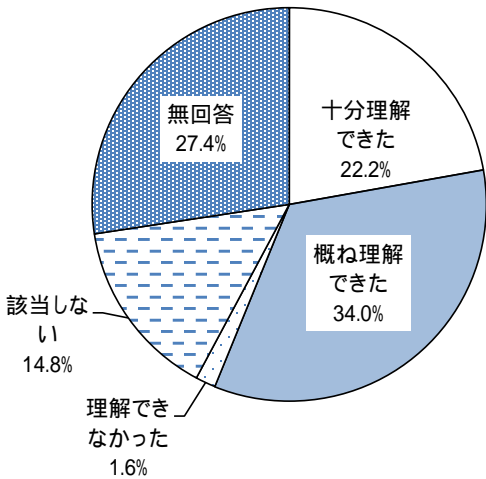
	回答数	割合
十分できた	149	40.8%
概ねできた	147	40.3%
あまりできなかった	4	1.1%
全くできなかった	2	0.5%
無回答	63	17.3%
合計	365	100.0%

問 1 0 . 安定ヨウ素剤の配布を受けた際の説明は理解できましたか？



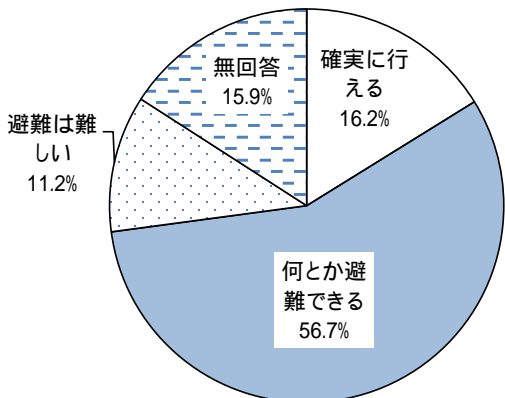
	回答数	割合
十分理解できた	110	30.1%
概ね理解できた	117	32.1%
理解できなかった	6	1.6%
受け取っていない	13	3.6%
該当しない	42	11.5%
無回答	77	21.1%
合計	365	100.0%

問 1 1 . 避難退域時検査場所での検査の流れは理解できましたか？（職員の対応含む）



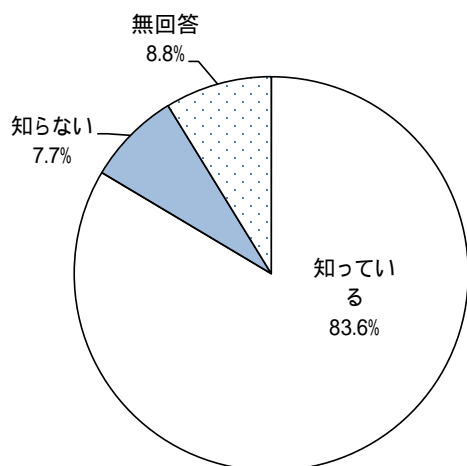
	回答数	割合
十分理解できた	81	22.2%
概ね理解できた	124	34.0%
理解できなかった	6	1.6%
該当しない	54	14.8%
無回答	100	27.4%
合計	365	100.0%

問 1 2 . 今回の訓練を体験して避難は確実にできると感じましたか？



	回答数	割合
確実にできる	59	16.2%
何とか避難できる	207	56.7%
避難は難しい	41	11.2%
無回答	58	15.9%
合計	365	100.0%

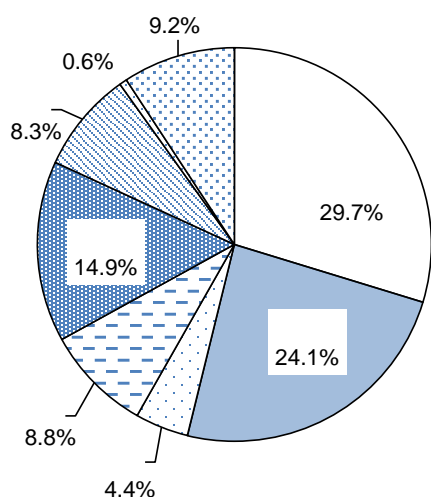
問 1 3 . 北海道では「原子力防災のしおり」や「北海道原子力防災カレンダー」などを配布し、原子力防災について広報を行っています。あなたは、広報が行われていることを知っていますか？



	回答数	割合
知っている	305	83.6%
知らない	28	7.7%
無回答	32	8.8%
合計	365	100.0%

問 1 4 . あなたが読んだことのある広報紙は何ですか？

(複数回答可)



	回答数	割合
原子力防災のしおり	190	29.7%
北海道原子力防災カレンダー	154	24.1%
北海道の原子力	28	4.4%
ほっかいどう原子力環境だより	56	8.8%
原子力防災だより	95	14.9%
読んだことはあるが、どの広報誌かわからない	53	8.3%
その他	4	0.6%
無回答	59	9.2%
合計	639	100.0%

平成28年度 原子力総合防災訓練
住民アンケート報告書
< 地域の特性（冬季の降雪や積雪）を考慮した要素訓練 >

平成29年5月

内閣府政策統括官（原子力防災担当）

目 次

1 . 原子力総合防災訓練・地域の特性を考慮した要素訓練のアンケート実施概要	1
2 . アンケートの目的	1
3 . アンケート回答者の属性	1
4 . アンケートの分析	2
4 . 1 アンケートについて	2
4 . 2 アンケートの分析方法	2
4 . 3 アンケート結果の分析及び改善提案	2
4 . 4 自由意見についての分析及び改善提案	5
5 . 総評	5

<参考>

住民アンケート結果

1 . あなたはどの町村の方ですか？

2 . あなたの性別を教えてください。

3 . あなたの年齢を教えてください。

問1 . あなたは、暴風雪時に原子力災害が発生した場合、どのような行動をとりますか？

問2 . 安定ヨウ素剤の配布又は事前問診を受けていますか？

問3 . 安定ヨウ素剤の服用方法や服用時期を知っていますか？

問4 . 今回の訓練では、さまざまな広報手段により情報の発信を行いました。どのような広報手段
であなたに情報が伝わりましたか？

問5 . 訓練広報の内容は理解できましたか？

問6 . 全体として、避難行動はスムーズに行えましたか？

問7 . 今回の訓練を通じて降雪・積雪時の避難は行えると感じましたか？

1. 原子力総合防災訓練・地域の特性を考慮した要素訓練のアンケート実施概要

- l 実施日時：平成29年2月4日（土）
- l 実施場所：避難所他
- l 対象者：泊村、共和町の訓練参加住民（PAZ内）
- l 回答人数：45名（内訳：泊村23名、共和町22名）

2. アンケートの目的

本年度に原子力総合防災訓練の一環として実施した地域の特性（冬季の降雪や積雪）を考慮した要素訓練において、参加者アンケートを行い、これらの結果を分析のうえ改善策を検討し、今後の訓練に役立てることを目的として実施した。

3. アンケート回答者の属性

回答者の住まいは、「泊村」が51.1%、「共和町」が48.9%の構成であった。

回答者の性別は、「男性」が42.2%、「女性」が57.8%であった。

回答者年齢は、「60代以上」が40%、「40～50代」が37.8%であり、40代以上が75%以上を占めた。

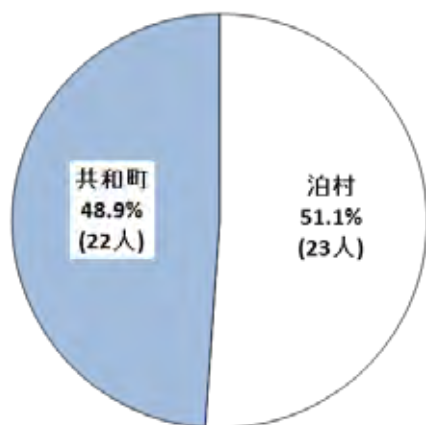


図 3-1 回答者の住まい

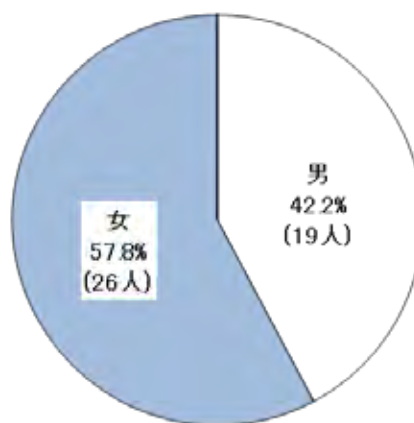


図 3-2 回答者の性別

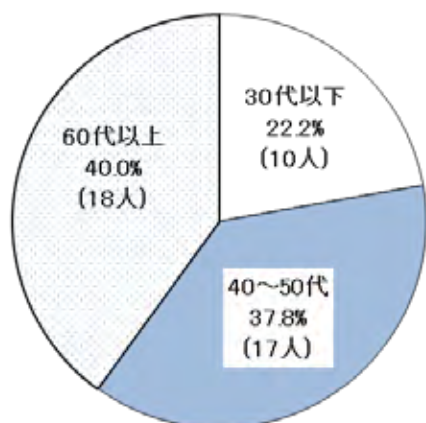


図 3-3 回答者の年齢

4. アンケートの分析

4.1 アンケートについて

アンケートは、記入しやすさを考慮し、項目毎に達成度を選択肢から選択する方式とし、否定的な回答に対してはその理由の選択と自由記載により原因を特定しやすくする方法をとっている。アンケートの評価選択肢は、肯定側に「十分」と「概ね」、否定側に「あまり」と「全く」で構成される。また、自由意見記載欄を設け、回答者の意見、感想等を収集することとした。

4.2 アンケートの分析方法

(1) 選択式の設問については集計結果をもとに実施した。

アンケート結果を肯定側（「十分」+「概ね」）、否定側（「あまり」+「全く」）に分類し、否定的な回答割合が10%を超える項目は、「改善の必要有り」として分析を行った。なお、この数値に統計的根拠はないが、十分に高い目標値であると考えられる。

(2) 自由意見については、意見の内容に基づき分類、集約して分析した。

4.3 アンケート結果の分析及び改善提案

アンケートの選択項目の集計結果をまとめたものを表1に示す。否定的な回答割合が10%以上のものについて、強調表示とした。また、アンケート集計結果（表1）で、否定的な回答割合が10%を超える以下の2項目についての分析結果を示す。

(1) 安定ヨウ素剤配布又は事前問診 (2) 安定ヨウ素剤服用方法や服用時期

表1 アンケート集計結果まとめ

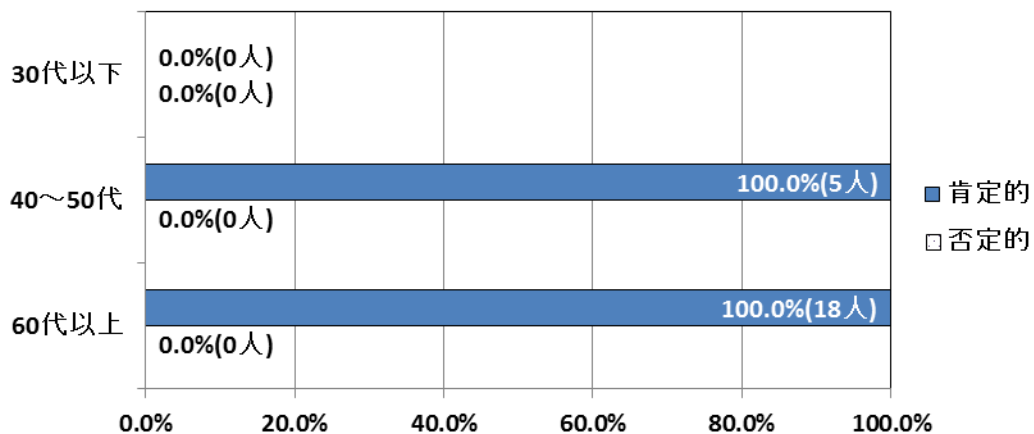
	設問	回答割合	
		肯定的	否定的
1	あなたは、暴風雪時に原子力災害が発生した場合、どのような行動をとりますか？	-	-
2	安定ヨウ素剤の配布又は事前問診を受けていますか？	80%	20%
3	安定ヨウ素剤の服用方法や服用時期を知っていますか？	75.6%	22.2%
4	今回の訓練では、さまざまな広報手段により情報の発信を行いました。どのような情報手段であなたに情報が伝わりましたか？(複数回答可)	-	-
5	訓練広報の内容は理解できましたか？	82.2%	2.2%
6	全体として、避難行動はスムーズに行えましたか？	91.1%	0%
7	今回の訓練を通じて降雪・積雪時の避難は行えると感じましたか？	82.2%	8.9%

(1) 安定ヨウ素剤配布又は事前問診

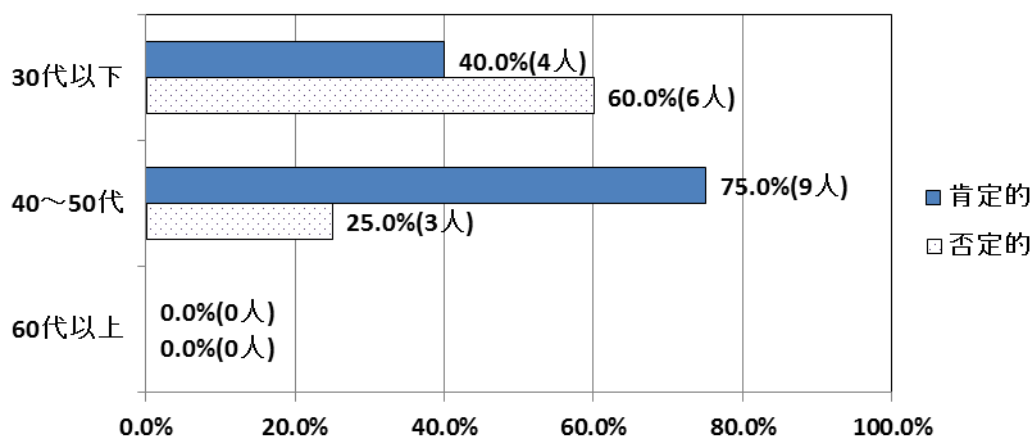
地区及び年代別の肯定的、否定的回答割合を図 4-1 に示す。
泊村の肯定的回答は 100% となっている。

図 4-1 地区及び年代別の肯定的、否定的回答割合

【泊村】



【共和町】



本設問については、自由記述がなく分析ができないため、結果のみの記載とする。

上記の結果から判断した課題及び改善策を表 4-1 に示す。尚、共和町は安定ヨウ素剤を緊急配布することとし、安定ヨウ素剤の住民説明会を開催し、事前問診を行っている。

表 4-1 安定ヨウ素剤配布又は事前問診に関する課題及び改善策

No.	課題	改善策
1	安定ヨウ素剤の事前問診を受けていない	・説明会（事前問診）の継続的な開催 安定ヨウ素剤の効果・服用方法等について住民に周知していくため、継続的な説明会（事前問診）の実施を推奨する。

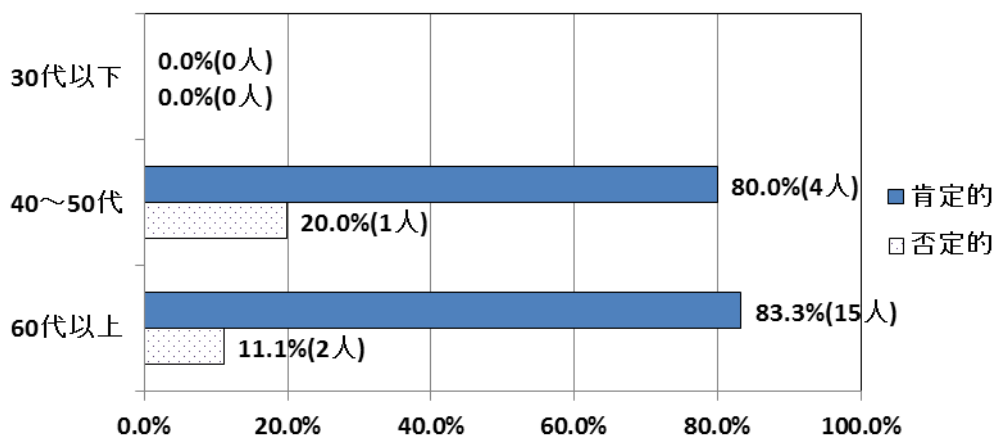
(2) 安定ヨウ素剤服用方法や服用時期

地区及び年代別の肯定的、否定的回答割合を図 4-2 に示す。

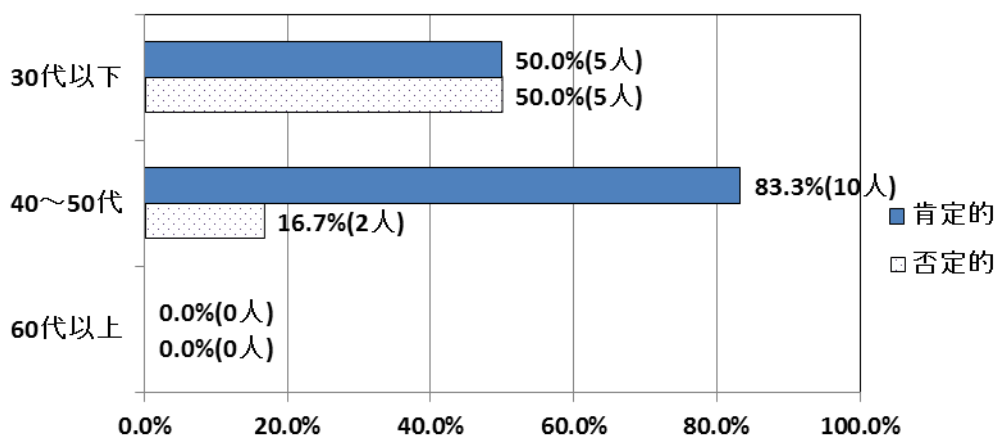
全体的に、安定ヨウ素剤の事前配布を行っている泊村に比べ、事前配布を行っていない共和町の否定的回答が高い傾向となっている。特に、共和町の30代以下の否定的回答の割合が高い結果になっている。

図 4-2 地区及び年代別の肯定的、否定的回答割合

【泊村】



【共和町】



本設問については、自由記述がなく分析ができないため、結果のみの記載とする。上記の結果から判断した課題および改善策を表 4-2 に示す。

表 4-2 安定ヨウ素剤服用方法や服用時期に関する課題及び改善策

No.	課題	改善策
1	安定ヨウ素剤の服用方法や服用時期を知らない	・説明会の継続的な開催 安定ヨウ素剤について住民に周知していくため、継続的な説明会の実施を推奨する。

4.4 自由意見についての分析及び改善提案

(1) 訓練参加者

若年層の参加が少なく、高齢者の参加が多い訓練であった。特に、泊村の30代以下の参加者は0名であり、今後、若年層が参加できるような取組みが必要であると考ええる。

(2) 避難計画

住民の6割以上が暴風雪時における避難計画について理解しており、防災意識の高さが伺える。防災意識の更なる向上のため、防災訓練等を継続的に実施していくことを推奨する。

(3) 安定ヨウ素剤

安定ヨウ素剤の説明は、定期的を実施するよりも転入時や未入手者、内容を知らない人に随時行っていただきたいとの声も挙げられた。継続的に説明会を実施するとともに、転入時の対応や安定ヨウ素剤未入手者・内容を知らない人への対応、説明会に参加していない住民への対応等、今後、安定ヨウ素剤についてより周知するための取組みが必要であると考ええる。

(4) 備蓄や備品

避難所での食事・防寒用具についての不安や、避難所まで行く際の専用マスク・簡易着用服がなく不安等の声も挙げられた。広報紙などにより、避難に際して必要となる所持品などの準備を推奨する取組みが必要であると考ええる。

(5) 避難訓練

住民の9割以上が「できた」と回答しており、今回の避難訓練は非常に良好であったと考ええる。今回の訓練を通じて、8割以上の住民が降雪・積雪時の訓練は行えると回答した一方、実際に暴風雪が発生した場合のバスや避難ルートへの不安等の声も挙げられた。今後、より厳しい想定且つ多様な状況を想定した訓練も必要ではないかと考える。

秋と冬の訓練が実施できたことで防災意識が高められたとの意見もあり、継続的な訓練の実施を推奨する。

5. 総評

住民アンケート結果を分析すると、今回の訓練は、全体的に良好であったと思われる。

しかし、良好な中でも、安定ヨウ素剤の服用方法や服用時期について、特に、若年層にはあまり周知されていない等の課題も明確になった。また、少数ではあるが、実際に暴風雪が発生した場合のバスや避難ルート、避難の際に必要な所持品など不安意見があげられた。

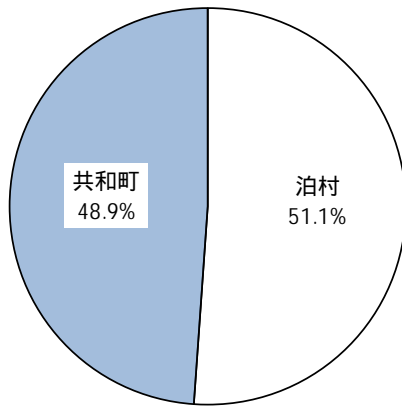
本訓練で明確となった課題や意見は、緊急時対応や訓練方法・内容の高度化等の継続的改善を図るための要素であり、4.4で提示した改善提案などを参考に、今後の緊急時対応等の更なる充実・強化を推奨する。

以上

<参考>

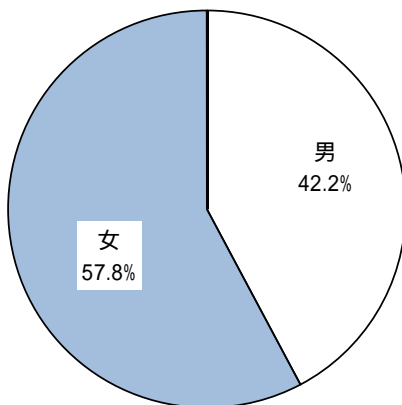
住民アンケート結果

1. あなたはどの町村の方ですか？



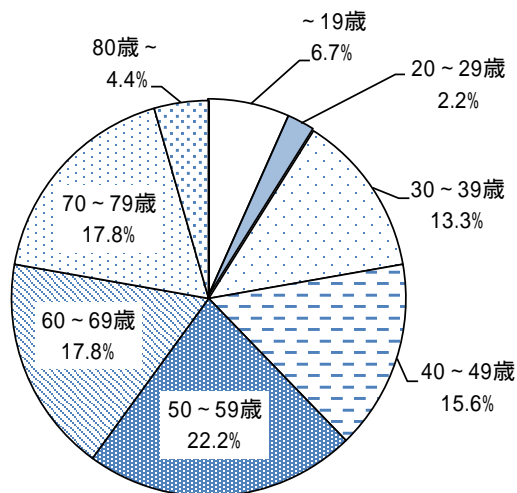
	回答数	割合
泊村	23	51.1%
共和町	22	48.9%
合計	45	100.0%

2. あなたの性別を教えてください。



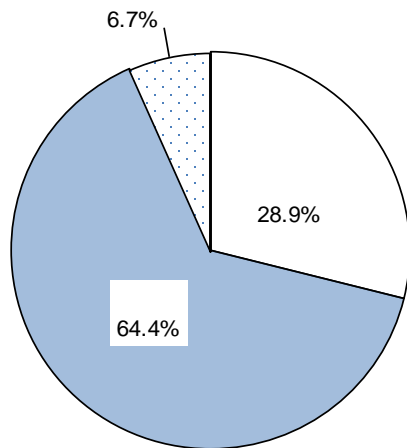
	回答数	割合
男	19	42.2%
女	26	57.8%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%

3. あなたの年齢を教えてください。



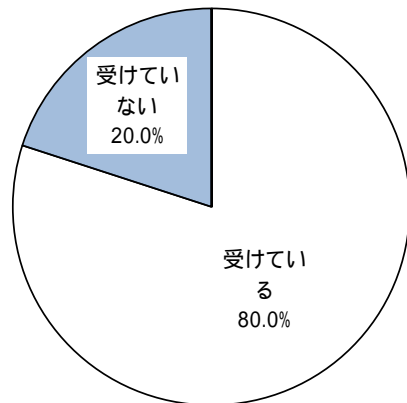
	回答数	割合
~19歳	3	6.7%
20~29歳	1	2.2%
30~39歳	6	13.3%
40~49歳	7	15.6%
50~59歳	10	22.2%
60~69歳	8	17.8%
70~79歳	8	17.8%
80歳~	2	4.4%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%

問1．あなたは、暴風雪時に原子力災害が発生した場合、どのような行動をとりますか？



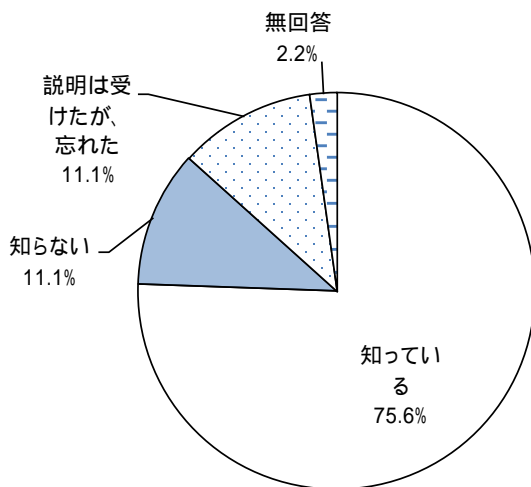
	回答数	割合
放射線の影響が心配なので、一刻も早く自家用車又はバスで避難する	13	28.9%
暴風雪の中での避難は危険なので、まずは自宅等で待機し、天候回復を待つ	29	64.4%
わからない	3	6.7%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%

問2．安定ヨウ素剤の配布又は事前問診を受けていますか？



	回答数	割合
受けている	36	80.0%
受けていない	9	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%

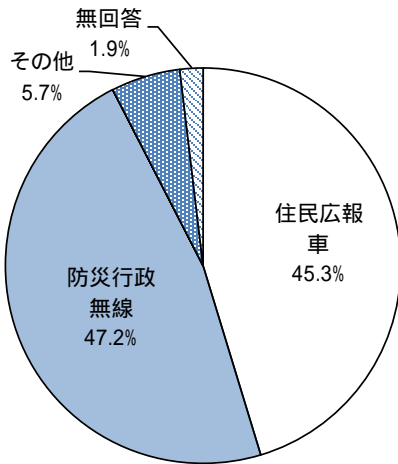
問3．安定ヨウ素剤の服用方法や服用時期を知っていますか？



	回答数	割合
知っている	34	75.6%
知らない	5	11.1%
説明は受けたが、忘れた	5	11.1%
無回答	1	2.2%
合計	45	100.0%

問4 . 今回の訓練では、さまざまな広報手段により情報の発信を行いました。どのような広報手段であなたに情報が伝わりましたか？

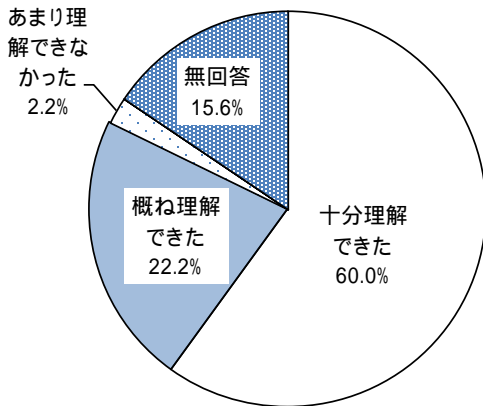
(複数回答可)



	回答数	割合
住民広報車	24	45.3%
防災行政無線	25	47.2%
道ホームページ	0	0.0%
伝わらなかった	0	0.0%
その他	3	5.7%
無回答	1	1.9%
合計	53	100.0%

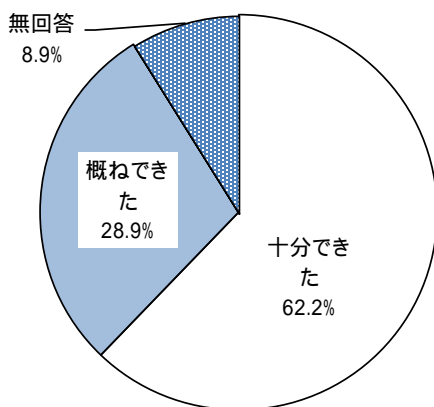
問5 . 訓練広報の内容は理解できましたか？

(設問4で「伝わらなかった」以外を選んだ方)



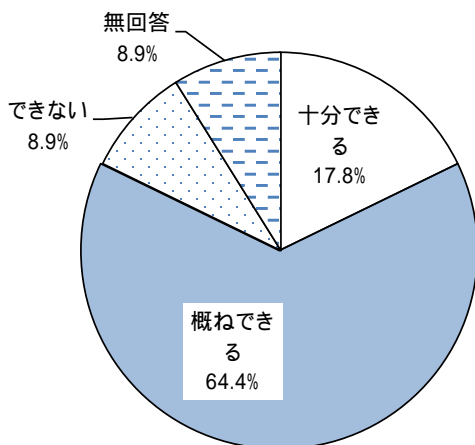
	回答数	割合
十分理解できた	27	60.0%
概ね理解できた	10	22.2%
あまり理解できなかった	1	2.2%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	7	15.6%
合計	45	100.0%

問6 . 全体として、避難行動はスムーズに行えましたか？



	回答数	割合
十分できた	28	62.2%
概ねできた	13	28.9%
あまりできなかった	0	0.0%
全くできなかった	0	0.0%
無回答	4	8.9%
合計	45	100.0%

問7. 今回の訓練を通じて降雪・積雪時の避難は行えると感じましたか？



	回答数	割合
十分できる	8	17.8%
概ねできる	29	64.4%
できない	4	8.9%
無回答	4	8.9%
合計	45	100.0%